

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 19 No 2

211号

平成23年 2月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

学術奨励賞を受賞して

院長

この度、榮譽ある仙台市医師会学術奨励賞を受賞いたしましたので、喜びとともに皆さんに報告します。

1978年杏林大学卒業後、国立仙台病院研修から国立小児病院新生児科を皮切りに新生児医療の道を歩みはじめました。仙台赤十字病院新生児集中治療室から、日立製作所日立総合病院新生児集中治療室開設のため赴任しました。1992年新生児医療への貢献により日立市長からの感謝状を頂き、1993年かわむらこどもクリニックを開業し、今月で18年目となりました。

新生児医療を通して、先進的な医療と同等に母親の精神的なケアの重要性を学んだことから、「お母さんの不安・心配の解消」を開業理念に掲げました。理念を実践するために、院内報「かわむらこどもクリニックNEWS」(211号)をはじめ、「かわむらこどもクリニック HOME PAGE」、医療相談(5700件)、育児サークル『お母さんクラブ』(104回)など、様々な子育て活動を展開しています。皆さんもご承知のように、HPのアクセス数は86万件を超え小児科サイトの老舗と称され、高く評価されています。2004年には、紙メディアとインターネットの有機的な繋がりのなかで行われている子育て支援活動が注目を浴び、NPO法人日本HIS研究センターの第1回病院広報企画賞を受賞しました。開業医にもかかわらず大病院を排して受賞したことは、当院の活動が高く評価されたものでした。その後、理念を実現するための活動は、育児情報誌執筆、医学生実習受け入れ、小学4年生の性教育と進化し、最近ではTwitter、MailNewsなどと形を変えながら展開しています。ITと融合した情報提供とコミュニケーションの取り組みは、講演会やメディアでしばしば取り上げられ、今月日本医師会医療情報システム協議会「ITは人間の心と身体を守るために如何に活用されているか？」のシンポジウムも担当します。

2009年新型インフルエンザパンデミックに際して、仙台小児科懇話会の代表世話人として、10月から6ヶ月間「小児科診療所医療従事者コホートにおける新型インフルエンザ感染に関する研究」を行いました。

2010年4月から仙台小児科医会会長に就任し、初年度の取り組みを髄膜炎関連ワクチンの接種費用助成獲得として、署名運動、市長への要望書提出、市民公開

講座開催、多くの親御さん達に協力してもらいました。その甲斐あって、政令指定都市では、仙台市が最も早くワクチン接種費用の助成が始まり、皆さんの役に立てたことはうれしい限りです。



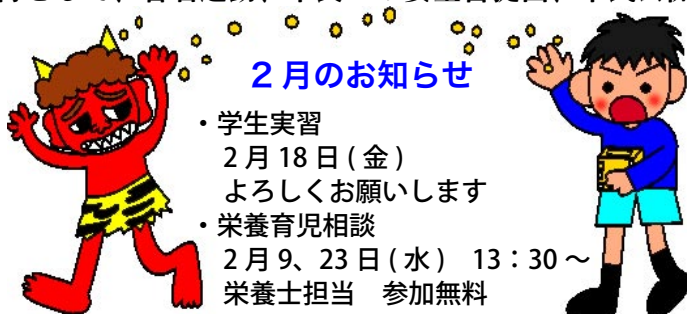
奥山市長・永井医師会長・村田先生と

開業理念「お母さんの不安・心配の解消」に基づく子育て支援活動に加え、小児科医会会長としてワクチン助成獲得への取組み、新型インフルエンザの研究が高く評価され、次のような理由で仙台市医師会学術奨励賞を受賞することができました。「新型インフルエンザパンデミックに際し、小児科診療所医療従事者の新型インフルエンザの発症並びに不顕性感染の調査研究を約6ヶ月行い、医療従事者の新型インフルエンザ感染率を調べ、一般市民と比べて医療従事者の感染率が高かったことを明らかにされました。このような医療従事者を対象とした長期間にわたる研究は無く、現状の蔓延防止対策に警鐘を鳴らすだけでなく今後のインフルエンザ感染対策に参考になると高く評価されており。さらに、日常診療多忙の中、仙台小児科医会の会長として会の先頭に立ち、予防接種普及の署名活動を行うなど市民のための活動にも情熱を注いでおられます。また、保育所嘱託医・保育士研修会の講師などを務められ、会員のみならず医療・保育従事者の生涯教育に貢献されました。:原文のまま」

最後になりますが、このような活動を通して受賞できたことは、かかりつけ患者さんをはじめ、スタッフ、そして家族の協力無しには、成し得なかったことと思っています。開業時に「お母さんの不安・心配の解消」の理念を掲げて苦節17年、今後も「継続は力なり」という座右の銘のもと子育て支援に精進しなさいという神の啓示と受け止めています。

最後にクリニックの支えは、かかりつけ患者さんです。びっくりするほど遠くから通院してくれたり、長い待ち時間を我慢してもらい、『お母さんクラブ』に参加し、お褒めやお祝いのメールを頂いたり、学生実習で嫌な顔せず協力してくれたり、いろいろな形でお世話になってきました。大声で笑ったり、時には涙し、そして言い争いも。これらひとつひとつが、院長はじめスタッフの大きな支えとモチベーションになっています。この場を借りて、感謝を伝えたいと思います。本当にありがとうございました。これからも、かわむらこどもクリニックをよろしく願いいたします。

(宮城県小児科医会会報の原稿を患者さん向けに書き直しました)



2月のお知らせ

- ・学生実習
2月18日(金)
よろしくお祈りします
- ・栄養育児相談
2月9、23日(水) 13:30~
栄養士担当 参加無料

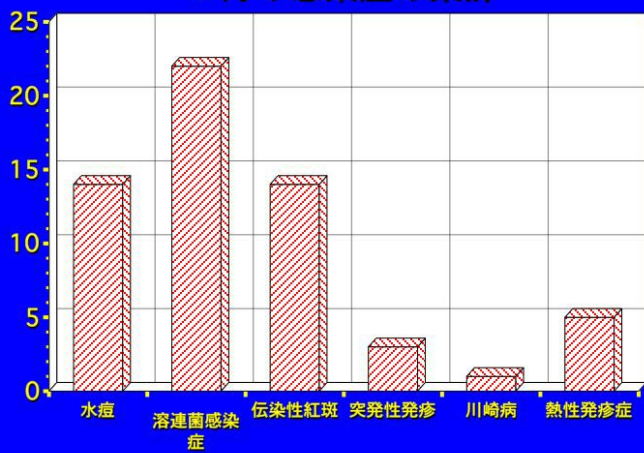
麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
「すべての子どもたちにすべてのワクチンを。ヒブ・肺炎球菌ワクチンは2ヶ月から」

読者の広場

先月は31通のメールを頂きました。年末ということもあり、皆さんいろいろ大変だったようでした。まずは宮城野区の矢古宇さんから新年の挨拶かと思ったら入院の報告が、「あけましておめでとうございます。突然ですが...今旦那の実家宇都宮です。1月1日の正月...ゆづき、熱性重けいれいで救急二に駆け込み、そこから救急車で〇〇二に運ばれました。熱は40度。初めてのけいれんで焦ったけど、じいじがいるから裕介の事任せられるので比較的落ち着いて対処出来た気がします。お薬手帳と、かわむら先生の存在を御守りに新年早々入院となりました。退院して仙台戻ったら、かわむら先生に会いに行きます。喘息の薬まだあるけど...話したいから行きます。先生のいない二が、これほど不登校とは思っていません。お母さんを励ますために、何度かメールのやり取りを。そして「先日は私の話に耳を傾けてくれてありがとうございます。モヤモヤや不登校がどっか消えました。入院二では先が見えず説明もなく...不登校や苛立ちだらけでした。『正月で先生がお休みです。4日から診察なので、それまでは安静で...』というような、説明があれば、ここまで苛立ちはなかったと思います。喘息発作起きて、いつものお薬を断られ...『先生に聞いてから』の返答を何度聞いたか...熱性けいれんの座薬について、37.5で入れるって事にも疑問感じて平熱高い事を伝えると、曖昧な返事...でも悪い事ばかりではないんです。面会時間が14時半~20時と決まっている為、夜は上の子との時間を大切に...そして自分も休めました。検査についても?。検査結果も?。これじゃ不登校です。先生から吸入のOKが出て看護師さんに説明したら、ある看護師さんは、肋骨に嫌な顔するし。そりゃ1日5回も吸入頼まれたら仕事増えて嫌だろうけど...。イライラする時間が過ぎる中、救われたのは、かわむら先生との二。保育士さんの子供の様子の報告と、こまめに子供に話し掛けてくれたり、私にも沢山話し掛けてくれました。そして、退院後かわむら二行った時に、先生から『ご苦勞様』看護師さんから『おかげさまで』そんな感じで何もかもすつとんだあ言葉で大変ですなあ。そうですね。何気ないひと言がどれだけ大事なのか。携帯絵文字は☹️になってます。解説してくださいね。次は青葉区の龍田さんから緊急のメールです。「今、救急車の中です。〇〇病院に向かっています。駐車場で停車中に後ろから激突されましたあ(;_;)雪乃が首と頭に痛みがあり重症かも。秀太は大丈夫そうですけど...。〇〇病院で大丈夫なのか少々不登校でメールしましたあ。ごめんなさい。こんな遅くに...」返信したら「返信ありがとうございます m(_)_m 正直、どうしてかわむら先生にメールしたのかもよくわかりません...(;^_^A 行ったことのない病院だったので、不登校でメールしてしまいましたあ。すみませでした m(_)_m」。無意識というのはある意味恐ろしいものです。気がついたらクリニックにメールしていた。言い方は変ですが、うれしい限りです。続いては匿名希望さんの号泣編です。「先生今日は本当に、本当にありがとうございました。〇〇の診察に行ったのが、私の悩み相談に行ったのがわからない感じで...。何だか申し訳ないです。昨夜から、どうしても先生とお話をしたいな...メールしようかな...でもメールじゃうまく伝えられないな...と思っている矢先に〇〇の発熱。確かアーチルで「知的・精神遅延」と今じゃ考えられない誤診?を受けた次の日も偶然インフルエンザの予防接種で...その時も先生の顔を拝見した途端に号泣したなあ。と思い出しました。あの時も今回も、先生のかけて下さる一言一言がとても暖かく、本当に感謝の気持ちで一杯です。△△は元気一杯で帰宅「今日は大好きなカレーだったよ!久しぶりに美味しい気持ちで食べられたよ!」と笑顔で報告してくれました。そうですね。笑顔が見れたらいいいですよね。ネガティブになっていた自分が情けないです。気持ちを切り替えて今日からまた頑張ります。先生本当にありがとうございました。診察を滞らせてしまいすいませんでした。」。子育てにはいつもストレスが付き物ですから、時には泣いてガス抜きすることも必要かもしれません。最後は青葉区の中鉢さんから。「川村先生こんばんは。いつもお世話様です。中鉢翼の母です。この度は学術奨励賞受賞おめでとうございます!土曜日はありがとうございました m(_)_m おかげさまで30日の当番日には再受診をしなくても元気になりました。今回の病名は学校でも流行っていた「感染性胃腸炎」だったと思います。翼も2日位腹痛、そして受診した日には嘔吐でした。子どもを育てていて悩むのは嘔吐した後の水分を取るタイミングです。点滴をしてなんとなく元気になった子どもにポカリを飲ませさせて嘔吐したことが何回あったかしら?ポカリを少しずつ飲ませて様子を見ながら水分を増やしていくことは私にとって難しいことでした。でも今回、水分の取り方の計画を示して頂き、嘔吐を繰り返すことなく子どもが元気になっていく姿は親としてホッとするばかりでした。まだまだわからないことばかりですが、これからもし宜しくお願い致します。寒い日が続きますが、先生もお身体を気をつけて下さい。』。そうですね。子育てはいつまでも勉強かもしれません。一面にも書きましたが、こんな暖かい、そして可愛いお母さんたちにクリニックは支えられているのです。ありがとう!!



1月の感染症の集計



水痘と溶連菌感染症がまたまた増加しました。伝染性紅斑(りんご病)も再び増加。グラフには示していませんが感染性胃腸炎が多くみられました。インフルエンザは1月は79人で、中程度の流行規模です。しかしまだ増加傾向があり、油断できません。流行状況をTwitterでお知らせしています。

Mail News 発行のお知らせ



Mail Newsを発行しています。200人を越えるお母さん方に登録をいただいています。携帯でもPCでも可能です。右上のバーコードでメールが立ち上がります。「登録希望」と登録者、お子さんの名前を書いて送信してください。携帯用HP(左のバーコード)でMail Newsも読めますよ。Twitterも、で携帯サイトをブックマークに登録してください。Blog(右下バーコード)も始めました。



編集後記

診療以外の仕事でテンパっています。1月は原稿書きだけで10件以上、Blogまで始めてしまい、毎日が追いかけてっこです。1月も2月も週末は、ほとんど出張で、講演会やシンポジウムにも呼ばれています。忙しいうちが華で、なんか嬉しそうでしょう!? (笑) 読者の広場、いっぱい載せ過ぎ、読み辛くてごめんなさい!



麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』
Ⅲ期(中学1年生相当)、Ⅳ期(高校3年生相当)も忘れずに!